

ご紹介いただく医療関係者の皆さまへのお願い

発熱、咳症状等および新型コロナウイルス感染症が疑われる患者さまをご紹介いただく際には、事前に地域連携センターまでご連絡ください。患者数が急増する中、待ち時間の軽減や感染対策を目的に来院時間・場所の調整を行っております。つきましては、診療情報提供書のみで直接受診を指示されることはご遠慮いただきますようお願いいたします。

ご理解・ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2021年度
緩和ケアチーム学習会のご案内

Web開催

日時：2022年3月11日（金）17：30～18：30

テーマ：1) 終末期の患者・家族との関わり
2) 退院支援の実践

講師：1) 緩和ケア認定看護師 岩谷 理佳子
2) 医療ソーシャルワーカー 城戸 愛美

令和3年度 第6回 和泉市立総合医療センター
クリニカルカンファレンスの開催

日時：2022年3月24日（木）17：30～18：30

1. 『アトピー性皮膚炎』

和泉市立総合医療センター 皮膚科 岡林 綾

2. 『病理診断を有効に利用していただくために』

和泉市立総合医療センター 病理診断科 特別顧問 覚道 健一

2月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ（休診案内）をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



地域連携センター
予約受付時間

和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9：00～19：00まで
土曜日 9：00～13：00まで
（但し祝日・年末年始の休日は除く）
TEL:0725-41-3150（直通）
FAX:0725-41-2513（直通）

地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター（毎月1回発行）
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



～ 専門・認定看護師のご紹介 ～

緩和ケアセンター
Palliative Care Center
腫瘍内科 血液内科
Medical Oncology Hematology
緩和ケア内科
Palliative Care Medicine
外来化学療法室
Outpatient Chemotherapy Unit

緩和ケア認定看護師
岡田 芙美子



普段の仕事内容

緩和ケアチームの看護師として、横断的に活動しています。患者さんの苦痛を身体面だけでなく、精神的・社会的・スピリチュアルな視点で評価し、多職種で連携することでより安心して過ごすことができるケアの実践につなげています。

大切にしていること

まずはその方の気がかりやお気持ちをじっくりと聞くことです。全てにおいて解決できなくても、安心した、話してよかったと思ってもらえることを心がけています。

認定看護師を目指したきっかけ

病気と向き合う患者さんやご家族には、痛みなどの身体的な苦痛だけではなく様々な問題が生じます。看護師として専門的な知識や技術を学ぶことで、患者さんとそのご家族の身近にいて、少しでも役に立つことができるのではないかと思います。目指しました。

医療関係者のみなさまへ

患者さんが、どこでどのように過ごしたいか、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)を推進し、ご家族も含めて安心した暮らしができる、地域と病院のシームレスな緩和ケアを目指しています。当センターが、緩和ケアにおけるお悩み事の相談場所になればと考えています。



呼吸器内科のご案内

呼吸器内科は松下病院長を筆頭に田中、石井、中辻、上西、上田、小林、上野の8名体制で診療にあたっており、細菌性肺炎、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症をはじめ、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息の管理・治療など呼吸器疾患全般の診断・治療を行っています。また地域医療機関としてCOVID-19患者の受け入れや、睡眠時無呼吸症候群のPSG検査入院、慢性疾患に対するリハビリ治療も行っています。診断や治療などでお困りの際はご紹介頂ければ幸いです。

近年、肺癌の患者数は増加傾向にあり、気管支鏡検査も増加しています。気管支鏡検査は月曜日午前、火曜日終日、木曜日終日と週3回行っています。ここ数年の気管支鏡検査は年間約650件前後で推移していましたが、令和3年度は800件を超えるペースで検査を行っています。

2020年10月より迅速細胞診(ROSE)を開始し、検査中にROSEを行うことにより正診率向上に努めています。また11月からはクライオバイオプシー(肺の組織を凍らせて採取する方法)を導入致しました。クライオバイオプシーは従来の生検鉗

子で得られる検体より数倍多くの組織量が採取可能で、組織の挫滅や血液の混入が少ないことが特徴です。これにより間質性肺炎や肺癌診断の向上はもちろんのこと、肺癌のバイオマーカーであるEGFR、ALK、ROS1、BRAF、METなどの遺伝子変異の検索やPD-L1蛋白発現の有無なども精査可能となりました。

また、胸水精査目的に短期入院による局所麻酔下胸腔鏡検査も行っており、従来の全身麻酔による胸腔鏡検査と比較すると侵襲が少なく、高齢者の患者様においても検査可能となっています。胸部レントゲンで肺がんを疑う症例や、胸水貯留症例などございましたら、ご紹介頂ければと存じます。

以上、簡単ではございますが呼吸器内科の紹介をさせていただきました。これからも地域医療に貢献できるように研鑽して参りますので、引き続きご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

呼吸器内科 部長 田中 秀典



和泉市立総合医療センター
呼吸器内科 部長 田中 秀典(たなか ひでのり)

〈資格〉
日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医 / 日本内科学会総合内科専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医 / 難病指定医

外来担当医表 ※受付時間は午前8:00～午前11:30
☆は女性です

	月	火	水	木	金	土
午前	松下	上西	松下	益田	田中(秀)	交代制 (予約制)
	上田	☆中辻	宮本	小島	☆石井(真)	
		☆佐藤(佳)				

2020年 実績

入院		
疾患分類	人数	%
アレルギー性疾患	42	3.6%
間質性肺炎	113	9.6%
胸膜疾患	31	2.6%
原発性肺がん	304	25.8%
呼吸器感染症	437	37.0%
縦隔疾患	8	0.7%
睡眠時無呼吸症候群	32	2.7%
慢性閉塞性肺疾患	49	4.2%
その他	163	13.8%
合計	1179	100%

主な対象疾患

呼吸器系腫瘍 原発性肺がん、縦隔/胸膜腫瘍、感染症 肺炎、肺化膿症、気管支拡張症、気管支炎、結核、非結核性抗酸菌症、アスペルギルス症、免疫・アレルギー疾患、気管支喘息、好酸球性肺炎、間質性肺炎/肺繊維症、過敏性肺炎、サルコイドーシス、喫煙関連肺疾患 肺気腫/慢性気管支炎、胸膜疾患 胸膜炎、気胸、その他 睡眠時無呼吸症候群

呼吸器センターのご案内

胸部手術
320例/年
(肺がん150例/年)

気管支鏡
800例/年

化学療法
1200例/年
(肺がん360例/年)

放射線療法
300例/年
(肺がん100例/年)

呼吸器センターは和泉市を中心とした泉州地域における呼吸器疾患、特に肺がん治療への迅速な診断と適切かつ最良の治療を提供することを目的として設立されました。これまで、初診から肺がん治療開始まで2か月程度要していましたが、センター設立により1か月へ短縮されました。呼吸器内科(診断担当)、呼吸器外科(外科治療担当)、腫瘍内科(内科治療担当)が合同で呼吸器カンファレンスを行っております。呼吸器カンファレンスでは、肺がん診断のための気管支鏡検査前に、症例毎の治療フローチャートを立案しています。手術適応症例には呼吸器外科への紹介時期を決定し、必要に応じて確定診断前に手術説明を行います。薬物治療の適応症例に対しては、薬剤決定に必要な遺伝子検査の種類やタイミングを決定しています。治療方針を共有し、各科で連携することで迅速な治療介入を実現できています。さらに、がんに対しての多職種カンファレンス(カンサーボード)を経ることによって、より適切で最良な治療を提供することを実現しています。肺がんを中心とした呼吸器診療において、大きな安心と高い専門性を有した呼吸器センターであると自負しています。呼吸器疾患でお困りのことがございましたら、私たちへ連絡いただければ迅速に対応させていただきます。

